

参考資料 ～熊谷市の事例～

放課後子供教室（一体型事例）

市町村名	熊谷市				
実施教室数	29 教室	登録	コーディネーター数	29 人	
(うち一体型・連携型での実施教室数)	28 教室	スタッフ数	ボランティア数	3150 人	
平均年間開催日数	18 日				

【活動事例の紹介】

教室名	東小ふれあいスクール				
登録児童数	635 人	登録 スタッフ数	11 人	児童クラブ 連携状況	一体型
開催日	定期イベント時 (うち一体型) 同上	年間開催日数	6 日 (うち一体型) 同上	平均参加者数	100 人 (うち児童クラブ参加者) 20 人

一体型で実施の取組内容

(1) 実施内容

- ① 親子ドッジボール大会の開催。低学年の親子を中心に1回開催。
- ② 熊谷女子高等学校ラクロス部の生徒による学習支援。補充学習「ステップアップタイム」での学習支援。年間10回開催のうち夏季休業日中の3回における学習支援。
- ③ 熊谷女子高等学校水泳部の生徒による学習支援。夏期休業中の2日間(1回2時間)行われる「水泳教室」(水泳の苦手な3年生以上の児童)における水泳指導補助。

(2) 当日の様子

- ① おやじの会の協力によりボールの投げ方や取り方を教えてもらいゲームを行った。親子での参加者が多く、前半は親子での練習や友達親子と一緒に練習をした。後半はいろいろなチームをつくってたくさんゲームをして楽しんだ。
- ② 学習支援の生徒を6学年に分け、丸付けやつまずきのある児童への個別の支援をしてもらった。児童たちも分かるまで教えてもらい満足そうであった。
- ③ 水泳の苦手な3年生以上の児童を対象に開催した水泳教室で、体を水に浮かせるコツや泳ぎ方のポイントの手本を見せながら教えてもらった。児童は、手を取り、声をかけてもらって練習し、泳力を伸ばすことができた。

実施までの流れ・ポイント

- ドッジボール大会では、入学間もない1・2年生の親子に呼びかけて実施した。休日の学校施設を利用して親子・教職員・放課後子供教室運営委員がスポーツを通じて交流し、親睦を図ることを目指して企画したものである。参加者の親睦が深まり、大好評であった。
- 熊谷女子高等学校は熊谷東小学校の隣にある。ラクロス部は、熊谷東小学校の運動場で放課後に部活動を行っている。また、熊谷女子高等学校は、将来、教員になることを希望している生徒が多くいる。そこで、ステップアップタイムではラクロス部、水泳教室では水泳部の生徒に学習支援者としての協力を依頼した。

成果・今後の展望

- 今年度からおやじの会を中心に親子ドッジボール大会を活動に加えた。休日に学校の体育館で友達の親子と一緒にスポーツをすることで親睦が深まったり、体力の向上に繋がったりと良い結果が表れた。今後は全学年が参加できるように複数回開催できるようにしていく。
- 熊谷女子高等学校の生徒の協力により、児童はステップアップタイム時に支援者と一対一に近い状態で学習することができた。そのため、一人一人のつまずきに応じた学習支援が充実し、児童も楽しみながら学習をすることができた。漢字や計算力等、国語・算数における基礎的・基本的な学力の向上が図れた。水泳教室では、高校生の泳ぎの手本や一人一人の泳力に応じた支援により、多くの児童の泳力向上に繋がった。
- 課題としては、学校がすべての窓口になっているため開催に際しての学校側の負担が大きくなっている。今後はコーディネーターを中心とした運営体制を整えていく必要がある。



【親子ドッジボール大会の様子】



【ステップアップタイムの様子】



【水泳教室の様子】